

1 「いわてスタンダード」「Gアップシート」とは

岩手県教育委員会と岩手県立総合教育センターは、中学生の学力向上をめざし、平成18年度に国語・数学・英語の3教科で「いわてスタンダード」と「Gアップシート」を作成し、県内全中学校にその冊子を配付した。

また、平成20年度からは、岩手県立総合教育センターwebページに学習サイトをリンクし、「Gアップシート」を県内の先生方や生徒が直接ダウンロードして学習できるように環境を整え、活用促進を図ってきた。

「いわてスタンダード」とは

学習指導要領及び、国立教育政策研究所が作成した評価規準の設定例を基に、その単元において生徒に身に付けさせべき力を「岩手の中学生に身に付けさせたい力」として、明確化・焦点化・細分化・具体化等をして示したものである。

* 「岩手の中学生に身に付けさせたい力」

平成18年度は、生徒の学力的課題から指導内容そのものの重点化を図り、それを「中核となる力」と名付けた。しかし、今回の改訂に伴い、学習指導要領の内容の重点化を図るのではなく、内容のすべてを十分に身に付けさせたいとの考えから、すべての内容を指導レベルで示すこととし、それを「岩手の中学生に身に付けさせたい力」と名付けた。「岩手の中学生に～」には、「岩手の中学生に岩手の先生が願いを込めて設定した」という意味が込められている。

「Gアップシート」とは

「いわてスタンダード」に示した「岩手の中学生に身に付けさせたい力」と設問が、できるだけ、1対1対応となるように工夫した評価問題である。

これらは、教師にとっては授業改善に向けた参考資料となり、生徒にとっては学力向上に向けた問題集的役割を果たすものとなる。

2 活用の方針

(1) 教師の授業改善に結び付ける。

① 「いわてスタンダード」

- ・教師が、学習指導要領の目標や内容を十分に指導するための指標とする。
- ・教師が、評価規準の設定や授業づくりの参考資料とし、これまでの指導を振り返ることができるようにする。

② 「Gアップシート」

- ・教師が、思考力、判断力、表現力等を高めるための活用を意識した設問を参考に授業での学習活動や課題、発問の在り方を検討できるようにする。
- ・教師が、評価規準をもとに評価する方法の参考にできるようにする。

(2) 生徒の主体的学習を支援し、学習内容の定着を図る。

① 「いわてスタンダード」

- ・生徒が、(単元で)どんな力を身に付ければよいのかを知るための、教科シラバス(学習計画)とすることができるものとする。

② 「Gアップシート」

- ・生徒が、授業の予習や復習として家庭学習で取り組むことができるようにする。
- ・生徒が、朝学習や放課後学習でも活用できるように各教科1シート(1回分)を10～20分程度の内容とする。
- ・生徒が、定着が図られていない内容を繰り返し学習できるように、工夫する。

(3) 学校が一丸となって学力向上に取り組むことができるツールとする。

- ・国語、数学、英語の3教科に限らず、他教科にとっても評価規準の設定方法や授業づくり、評価方法の参考にできる。
- ・国語、数学、英語について、教科担任だけでなく全校体制で家庭学習の充実や学習内容の定着に取り組むことができる。

○英語いわてスタンダードの見方

〈英語いわてスタンダードの特徴〉

- 「岩手の中学生に身に付けさせたい力」は、学習指導要領や領域別の「評価規準に盛り込むべき事項」と「評価規準の設定例」に対応させつつ、さらに本県における英語学習の課題解決に対応できるように作成しました。
- 学習指導要領には、学年毎の指導内容や目標は明記されていません。しかし、「いわてスタンダード」では各学年で身に付けさせたい力について学年毎に数値目標を設定するなど具体的に示しました。
- 学力課題の欄には、過去3年間の学習達成度調査と岩手県公立高校入試問題英語の分析から、「岩手の中学生の英語力の課題」と考えられるものをピックアップし、各校での指導の際に重点を置いて指導できるように示しました。

◆読むことに関する「評価規準の設定例」および「岩手の中学生に身に付けさせたい力」（抜粋）

【第2学年】

観点	◆評価規準の設定例	◆岩手の中学生に身に付けさせたい力	◆シート番号	◆学力課題
関心 意欲 態度	(記載例) ・積極的に音読している。	(記載例) ・理解した内容が適切に表現できるように、積極的に繰り返し返して音読している。	(記載例) △活動の観察 △自己評価	(記載例)
表現 の 能力	・意味内容にふさわしく音読することができる。	・まとまりのある英文(説明文、意見文、対話文など)を正しく理解し、その内容が適切に表現され、相手に伝わるように音読することができる。	△活動の観察 △音読テスト	
理解 の 能力	・文や文章を目的に応じた適切な速さで読み取ることができる。	・与えられた読み取りのポイントやヒントなどを参考に、適切にscanningやskimmingの読み取りができる。 ・250語程度の英文を4分で概要把握ができる。	25, 26, 50, 74, 78, 79, 80	H21 5(1)43%

視点①

評価規準の設定例

「評価規準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料」より転載。
(国立教育政策研究所)

視点②

岩手の中学生に身に付けさせたい力

学習指導要領や評価規準の設定例を基に具体的な学習目標や学習場面を示しつつ、本県の英語学習の課題にも対応させた。

視点③

シート番号と学力課題

左記の力が身についたのかどうかを評価できるGアップシート番号を示した。

中学校英語科「いわてスタンダード」

1 教科目標

外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を養う。

2 評価の観点及びその趣旨

評価の観点	評価の趣旨
コミュニケーションへの関心・意欲・態度	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。
外国語表現の能力	外国語で話したり書いたりして、自分の考えなどを表現している。
外国語理解の能力	外国語を聞いたり読んだりして、話し手や書き手の意向などを理解している。
言語や文化についての知識・理解	外国語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けるとともに、その背景にある文化などを理解している。

3 内容のまとめりごとの「評価規準に盛り込むべき事項」及び「評価規準の設定例」

(※外国語科においては学習指導要領の言語活動における「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」の4領域を内容のまとめりとしている)。

ア 「聞くこと」について

<p>◆ コミュニケーションへの関心・意欲・態度の評価規準に盛り込むべき事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「聞くこと」の言語活動に積極的に取り組んでいる。 ○ 様々な工夫をして、聞き続けようとしている。
--

◆ 学 習 指 導 要 領 (言語活動の内容について)	◆ 評 価 規 準 に 盛 り 込 む べ き 事 項
<p>(ア) 強勢，イントネーション，区切りなど基本的な英語の音声の特徴をとらえ，正しく聞き取ること。</p> <p>(イ) 自然な口調で話されたり読まれたりする英語を聞いて，情報を正確に聞き取ること。</p> <p>(ウ) 質問や依頼などを聞いて適切に応じること。</p> <p>(エ) 話し手に聞き返すなどして内容を確認しながら理解すること。</p> <p>(オ) まとまりのある英語を聞いて，概要や要点を適切に聞き取ること。</p>	<p>外国語理解の能力（正確な聞き取り）</p> <p>英語で話されたり読まれたりする内容を正しく聞き取ることができる。</p> <p>外国語理解の能力（適切な聞き取り）</p> <p>場面や状況に応じて英語を適切に聞いて理解することができる。</p>

◆聞くことに関する「評価規準の設定例」および「岩手の中学生に身に付けさせたい力」

【第1学年】

観 点	◆ 評価規準の設定例	◆ 岩手の中学生に身に付けさせたい力 〔 評価場面： ○Gアップシート △授業等 〕	◆ シート番号 (評価方法)	◆ 学力課題等 学習定着度調査
関 心 ・ 意 欲 ・ 態 度	【言語活動への取組】 ・相づちをうったりメモを取ったりするなど、相手の話に関心をもって聞いている。	△ アイコンタクトしながら、相手の英語を聞いている。 △ 教室でのインタビュー活動で、大切な事柄のメモを取りながら、相手の英語を聞いている。 (Webbing / Concept Mapping の方法も有効に取り入れる) △ 英語を聞いて分からない部分があっても、聞き取れた語句などから類推して聞こうとしている。	△ 活動の観察 △ 自己評価	
	・聞いたことについて簡単な言葉や動作などで反応している。	△ Oh! や Wow! などと反応したり、頷いたりしながら、表情豊かに相手の英語を聞いている。	△ 活動の観察	
	【コミュニケーションの継続】 ・相手に聞き返すなどして、言われたことを確認しながら聞き続けている。	△ 相手が話す英語が理解できない時は、Sorry? / Pardon? / Excuse me? などの表現を使い、積極的に聞き返しながら聞いている。	△ 活動の観察 △ Performance Test (会話)	
外 国 語 理 解 の 能 力	【正確な聞き取り】 ・強勢やイントネーション、区切りなどの特徴を捉えて聞き取ることができる。	△ 話された英文の基本的な強勢、イントネーション、区切りなどに注目し、内容を理解することができる。	△ 活動の観察	H22 4(4) 63% H20 4(1) 53%
	・語句や表現、文法事項などの知識を活用して短い英語の内容を正しく聞き取ることができる。	△ 適切な速さの簡単な英文を聞き、その内容(日時、曜日、場所、天候、人物など)を正しく聞き取ることができる。	△ Listening Test	
	【適切な聞き取り】 ・話されている内容から話し手の意向を理解することができる。	△ 相手が話す英語を聞いて、相手の考えや意図(質問、指示、依頼、提案)などを適切に聞き分け、理解することができる。	△ 活動の観察 △ Listening Test	H22 4(3) 58% H20 4(2) 38%
	・質問や依頼などを聞いて、簡単な言葉や動作などで適切に応じることができる。	△ 日常生活で行われる、相手からの英語による簡単な質問や指示、依頼などに、英語や動作で適切に応じることができる。例えば Please open the door. と言われて、実際にドアを開けて応じることができる。	△ 活動の観察 △ Performance Test (会話)	H22 2(2) 63% H20 4(3) 52%
・まとまりのある英語を聞いて、全体の概要や内容の要点を適切に聞き取ることができる。	△ 英語での自己紹介や簡単なスピーチを聞き、相手が伝えたい内容の概要(相手の趣味、特技、スピーチの要点など)を理解することができる。	△ Listening Test		

【第2学年】

観 点	◆ 評価規準の設定例	◆ 岩手の中学生に身に付けさせたい力 〔 評価場面： ○Gアップシート △授業等 〕	◆ シート番号 (評価方法)	◆ 学力課題等 学習定着度調査
関 心 ・ 意 欲 ・ 態 度	【言語活動への取組】 ・相づちを打ったりメモを取ったりするなど、相手の話に関心を持って聞いている。	△ アイコンタクトしながら、相手の英語を聞いている。 △ 相手の話す英語や電話での応答などを聞きながら、大切な事柄や要点をメモを取りながら聞いている。 (Webbing / Concept Mapping の方法も有効に取り入れる) △ 英語を聞いて分からない部分があっても、聞き取れた語句などから類推して聞こうとしている。	△ 活動の観察 △ 自己評価	
	・聞いたことについて簡単な言葉や動作などで反応している。	△ 相手の英語を聞きながら、I see. / Really? / Sure.などと反応したり、頷いたりしながら、表情豊かに相手の話を聞いている。	△ 活動の観察	
	【コミュニケーションの継続】 ・相手に聞き返すなどして、言われたことを確認しながら聞き続けている。	△ 相手が話す英語が理解できない時に、Pardon? / I am sorry, but I can't hear you. / Would you please say that again? などの表現を使って聞き返している。	△ 活動の観察 △ Performance Test (会話)	
外 国 語 理 解 の 能 力	【正確な聞き取り】 ・強勢やイントネーション、区切りなどの特徴を捉えて聞き取ることができる。	△ 話し手の気持ちや状況で、強勢やイントネーションなどが変化することに慣れ、英語の大切な部分を理解することができる。	△ 活動の観察 △ 自己評価	H22 3(1) 36% H21 3(2) 27% H20 3(1) 26% H21 1(3) 61% H20 1(2) 45% H22 1(2) 46% H21 3(4) 51%
	・語句や表現、文法事項などの知識を活用して短い英語の内容を正しく聞き取ることができる。	△ 意味のまとまりに注意しながら聞くことができる。 △ 適切な速さで話されたり読まれたりする英文を聞き、音の変化やスピードに対応しながら、その情報(意見、考え、場面状況など)を正しく聞き取ることができる。	△ Listening Test	
	【適切な聞き取り】 ・話されている内容から話し手の意向を理解することができる。	△ 相手が話す英語を聞いて、相手の考えや意図(質問、指示、依頼、提案など)を適切に聞き分け、理解することができる。例えば Do you have a pen? を依頼の表現と判断できる。	△ 活動の観察 △ Listening Test	
	・質問や依頼などを聞いて、簡単な言葉や動作などで適切に応じることかできる。	△ 日常生活で行われる、相手からの英語による簡単な質問や指示、依頼などに、英語や動作で応じることができる。例えば、Will you open the window?と言われて、実際に窓を開けて応じることができる。	△ 活動の観察 △ Performance Test (会話)	
・まとまりのある英語を聞いて、全体の概要や内容の要点を適切に聞き取ることができる。	△ 英語での自己紹介やスピーチ、留守番電話の伝言、天気予報などを聞き、話し手が伝えたいことや聞き手として必要な情報を適切に理解することができる。	△ Listening Test		

【第3学年】

観 点	◆ 評価規準の設定例	◆ 岩手の中学生に身に付けさせたい力 〔 評価場面： ○Gアップシート △授業等 〕	◆ シート番号 (評価方法)	◆ 学力課題等 公立高校入試
関 心 ・ 意 欲 ・ 態 度	【言語活動への取組】 ・相づちを打ったりメモを取ったりするなど、相手の話に関心を持って聞いている。	△ アイコンタクトしながら、相手の英語を聞いている。 △ 相手の話す英語や電話での応答などを聞きながら、大切な事柄や要点をメモを取りながら聞いている。 (Webbing / Concept Mapping の方法も有効に取り入れる) △ 英語を聞いて分からない部分があっても、聞き取れた語句などから類推して聞こうとしている。	△ 活動の観察 △ 自己評価	
	・聞いたことについて簡単な言葉や動作などで反応している。	△ 相手の英語を聞きながら That sounds nice. などと適切に相づちを打ったり、頷いたりしながら、表情豊かに相手の話を聞いている。	△ 活動の観察	
	【コミュニケーションの継続】 ・相手に聞き返すなどして、言われたことを確認しながら聞き続けている。	△ 相手が話す英語が理解できない時に、 Pardon? / I am sorry, but I can't hear you. / Would you please say that again? / You mean..., right? などの表現を使って聞き返して意味を確認している。	△ 活動の観察 △ Performance Test (会話)	
外 国 語 理 解 の 能 力	【正確な聞き取り】 ・強勢やイントネーション、区切りなどの特徴を捉えて聞き取ることができる。	△ 話し手の気持ちや状況で、強勢やイントネーションなどが変化することにも習熟し、英語の大切な部分を聞き取ることができる。 △ 意味のまとまりに注意しながら聞くことができる。	△ 活動の観察	H22 2(3) 32% H21 2(2) 19% H22 1(3) 46% H22 3(3) 44% H21 3(3) 39%
	・語句や表現、文法事項などの知識を活用して短い英語の内容を正しく聞き取ることができる。	△ 適切な速さで話されたり読まれたりする英文を聞き、音の変化やスピードに対応しながら、その情報(意見、考え、事実、出来事)を正しく聞き取ることができる。	△ Listening Test	
	【適切な聞き取り】 ・話されている内容から話し手の意向を理解することができる。	△ 相手が話す英語を聞いて、相手の考えや意図(質問、指示、依頼、提案)などを適切に聞き分け、理解することができる。例えば Do you have a pen? を依頼の表現と判断し、 Sure, here it is. などと答えたりできる。	△ 活動の観察 △ Listening Test	
	・質問や依頼などを聞いて、簡単な言葉や動作などで適切に応じることができる。	△ 日常生活で行われる、相手からの英語による簡単な質問や指示、依頼などに、場面や状況に応じて適切に英語や動作で応じることができる。例えば Will you tell me the way to the library? と言われて、地図や口頭で道を案内して応じることができる。	△ 活動の観察 △ Performance Test (会話)	
・まとまりのある英語を聞いて、全体の概要や内容の要点を適切に聞き取ることができる。	△ 英語での自己紹介やスピーチ、留守番電話の伝言、天気予報、機内放送、テレビコマーシャル、ニュースなどを聞き、話し手が伝えたいことや、聞き手として必要な情報を適切に理解することができる。	△ Listening Test		

3 内容のまとめりごとの「評価規準に盛り込むべき事項」及び「評価規準の設定例」

イ 「話すこと」について

<p>◆ コミュニケーションへの関心・意欲・態度の評価規準に盛り込むべき事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「話すこと」の言語活動に積極的に取り組んでいる。 ○ 様々な工夫をして、話し続けようとしている。
--

◆ 学 習 指 導 要 領 (言語活動の内容について)	◆ 評 価 規 準 に 盛 り 込 む べ き 事 項
<p>(ア) 強勢，イントネーション，区切りなど基本的な英語の音声の特徴をとらえ，正しく発音すること。</p> <p>(イ) 自分の考えや気持ち，事実などを聞き手に正しく伝えること。</p> <p>(ウ) 聞いたり読んだりしたことなどについて，問答したり意見を述べ合ったりなどすること。</p> <p>(エ) つなぎ言葉を用いるなどのいろいろな工夫をして話を続けること。</p> <p>(オ) 与えられたテーマについて簡単なスピーチをすること。</p>	<p>外国語表現の能力（正確な発話）</p> <p>自分の考えや気持ち，事実などを英語で正しく話すことができる。</p> <p>外国語表現の能力（適切な発話）</p> <p>場面や状況に応じて英語で適切に話すことができる。</p>

◆ 話すことに関する「評価規準の設定例」および「岩手の中学生に身に付けさせたい力」

【第1学年】

観 点	◆ 評価規準の設定例	◆ 岩手の中学生に身に付けさせたい力 〔 評価場面： ○Gアップシート △授業等 〕	◆ シート番号 (評価方法)	◆ 学力課題等
関 心 ・ 意 欲 ・ 態 度	【言語活動への取組】 ・間違ふことを恐れず積極的に自分の考えなどを話している。	△ 大きな声であいさつしたり，教室でのインタビュー活動，生徒同士のペア活動，先生と生徒のQAなどに積極的に，楽しく取り組んでいる。	△ 活動の観察 △ 自己評価	
	・聞き手が理解しやすくなるように工夫して話している。	△ 十分な声量，強勢やイントネーションなどの適切な声の調子，アイコンタクトや表情（笑顔など）を意識しながら相手に伝えようと話している。	△ 活動の観察 △ Performance Test（会話）	
	・問答したり意見を述べ合ったりなどしている。	△ 生徒同士のペア活動，先生と生徒のQA，英問英答などで相手に積極的に質問しながら取り組んでいる。	△ 活動の観察 △ Modeling	
	【コミュニケーションの継続】 ・つなぎ言葉を用いるなどして話を続けている。	△ Let me see.や Well.などの「つなぎ言葉」を使い，会話を継続しようとしている。	△ 活動の観察 △ Modeling	
	・身振り手振り，知っている語句や表現をうまく利用して自分の考えなどを話している。	△ 知らない表現などがあっても，身振り手振り，既習の表現などを活用して相手に伝えようとしている。	△ 活動の観察 △ Performance Test（会話）	
外 国 語 表 現 の 能 力	【正確な発話】 ・正しい強勢，イントネーション，区切りなどを用いて話すことができる。	△ 英語の音声の特徴を理解し，語の意味が正しく伝わるように語の中の強勢を正しく発音することができる。（語と語の連結による音変化の正しい発音なども含む）	△ 活動の観察 △ 個別指導	
	・語句や表現，文法事項などの知識を活用して正しく話すことができる。	△ 英文の最後を上げ下げすることで「疑問の意味」や「断定」の意味を表すことなど，文法事項や英語の音声の特徴を理解し，正しく話すことができる。	△ 活動の観察 △ Performance Test（会話）	
	【適切な発話】 ・場面や状況にふさわしい表現を用いて話すことができる。	△ 相手に自分の考えや気持ち，家庭生活の様子や自分の趣味などの「事実」を適切に伝えることができる。	△ Pair work & 生徒の発表	
	・尋ねられたことに対して適切に応答することができる。	△ 相手が話す英語を聞いて，相手の考えや意図（質問，指示，依頼，提案など）を適切に聞き分け，応答することができる。	△ 活動の観察 △ Performance Test（会話）	
	・適切な声量や明瞭さで話すことができる。	△ 状況（ペア活動，発表など）に応じた声量で，相手が理解できるように明瞭に元気よく話すことができる。	△ Performance Test（会話）	
・聞き手を意識して，強調したり繰り返したりして話すことができる。 ・与えられたテーマについて，自分の意見や主張をまとめよく話すことができる。	△ 大切なところを強調したり，分かりにくいところは繰り返して話すなどして，相手に伝えることができる。 △ 自分や家族など「身近なテーマ」について3文から5文程度のまとめのある英語でスピーチができる。 △ ポスターや図などを見て分かったことを発表できる。	△ 生徒の発表 △ Performance Test（speech）		

【第2学年】

観 点	◆ 評価規準の設定例	◆ 岩手の中学生に身に付けさせたい力 〔 評価場面： ○Gアップシート △授業等 〕	◆ シート番号 (評価方法)	◆ 学力課題等
関心・意欲・態度	<p>【言語活動への取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・間違ふことを恐れず積極的に自分の考えなどを話している。 ・聞き手が理解しやすくなるように工夫して話している。 ・問答したり意見を述べ合ったりなどしている。 <p>【コミュニケーションの継続】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・つなぎ言葉を用いるなどして話を続けている。 ・身振り手振り、知っている語句や表現をうまく利用して自分の考えなどを話している。 	<ul style="list-style-type: none"> △ 大きな声であいさつしたり，教室でのインタビュー活動，生徒同士のペア活動，先生と生徒のQAなどに積極的に，向上心を持って取り組んでいる。 △ 十分な声量，強勢やイントネーションなどの適切な声の調子，アイコンタクトや表情（笑顔など）を意識しながら相手に伝えようと話している。 △ 生徒同士のペア活動，先生と生徒のQA，英問英答などで相手に積極的に質問しながら取り組んでいる。 △ I see.やSure.など，「相づち」の表現を適切に使い，会話を継続しようとしている。 △ Oh, really? / How about you?などを付け足して，相手の発話を促そうとしている。 △ 知らない表現などがあっても，身振り手振り，既習の表現などを活用して相手に伝えようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> △ 活動の観察 △ 自己評価 △ 活動の観察 △ Performance Test (会話) △ 活動の観察 △ Modeling △ 活動の観察 △ Modeling △ 活動の観察 △ Performance Test (会話) 	
	外国語表現の能力	<p>【正確な発話】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正しい強勢，イントネーション，区切りなどを用いて話すことができる。 ・語句や表現，文法事項などの知識を活用して正しく話すことができる。 <p>【適切な発話】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場面や状況にふさわしい表現を用いて話すことができる。 ・尋ねられたことに対して適切に応答することができる。 ・適切な声量や明瞭さで話すことができる。 ・聞き手を意識して，強調したり繰り返したりして話すことができる。 ・与えられたテーマについて，自分の意見や主張をまとまりよく話すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> △ 英語の音声の特徴を理解し，強調したい内容は文の中に「強勢」を置き，正しく発音することができる。（語と語の連結による音変化の正しい発音なども含む） △ 英語の音声の特徴や英文の意味を理解し，「区切り」を意識しながら「意味のまとまり」ごとに話すことができる。 △ 相手に自分の考えや気持ち，学校や地域での生活に関する様子や事実などを適切に伝えることができる。 △ 相手が話す英語を聞いて，相手の考えや意図（質問，指示，依頼，提案など）を適切に聞き分け，応答することができる。 △ 状況（ペア活動，発表など）に応じた声量で，相手が理解できるように明瞭に，感情が伝わるように話すことができる。（声の調子，声量，話す速さなども工夫している） △ 大切なところを強調したり，分かりにくいところは繰り返して話すなどして，相手に伝えることができる。 △ 学校や日常生活など，「身近なテーマ」について，まとまりのある英語で30秒程度のスピーチができる。 △ スピーチや視聴覚教材などを聞いて，自分の感想や考えなどを発表できる。（Show and Tellの活動などにも上手に取り組める） 	<ul style="list-style-type: none"> △ 活動の観察 △ 個別指導 △ 活動の観察 △ Performance Test (会話) △ Pair work & 生徒の発表 △ 活動の観察 △ Performance Test (会話) △ Performance Test (会話) △ Modeling △ 活動の観察 △ 生徒の発表 △ 活動の観察 △ 生徒の発表 △ Performance Test (speech)

【第3学年】

観 点	◆ 評価規準の設定例	◆ 岩手の中学生に身に付けさせたい力 〔 評価場面： ○Gアップシート △授業等 〕	◆ シート番号 (評価方法)	◆ 学力課題等
関心・意欲・態度	<p>【言語活動への取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・間違ふことを恐れず積極的に自分の考えなどを話している。 ・聞き手が理解しやすくなるように工夫して話している。 ・問答したり意見を述べ合ったりなどしている。 	<ul style="list-style-type: none"> △ 大きな声であいさつしたり，教室でのインタビュー活動，生徒同士のペア活動，先生と生徒のQAなどに積極的に，自分で工夫しながら取り組んでいる。 △ 十分な声量，強勢やイントネーションなどの適切な声の調子，アイコンタクトや表情（笑顔など）を意識しながら相手に伝えようと話している。 △ 生徒同士のペア活動，先生と生徒のQA，英問英答などで，追加質問を加えながら取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> △ 活動の観察 △ 自己評価 △ 活動の観察 △ Performance Test (会話) △ 活動の観察 △ Modeling 	
	<p>【コミュニケーションの継続】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・つなぎ言葉を用いるなどして話を続けている。 ・身振り手振り，知っている語句や表現などをうまく利用して自分の考えなどを話している。 	<ul style="list-style-type: none"> △ 相手への質問から会話を始めたり，「つなぎ言葉」「相づち」の表現を使い，会話を継続しようとしている。 △ What do you think? / How about you?などを付け足して，相手の発話を促そうとしている。 △ 知らない表現などがあっても，身振り手振り，既習の表現などを活用して相手に伝えようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> △ 活動の観察 △ Modeling △ 活動の観察 △ Performance Test (会話) 	
外国語表現の能力	<p>【正確な発話】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正しい強勢，イントネーション，区切りなどを用いて話すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> △ 英語の音声の特徴を理解し，強調したい内容は文の中に「強勢」を置き，正しく発音することができる。（語と語の連結による音変化の正しい発音なども含む） 	<ul style="list-style-type: none"> △ 活動の観察 △ 個別指導 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・語句や表現，文法事項などの知識を活用して正しく話すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> △ 英語の音声の特徴や英文の意味を理解し，「区切り」を意識しながら「意味のまとまり」ごとに話すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> △ 活動の観察 △ Performance Test (会話) 	
	<p>【適切な発話】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場面や状況にふさわしい表現を用いて話すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> △ 相手に自分の考えや気持ち，学校や地域での行事に関する「情報」などを適切に伝えることができる。（インタビュー，ディスカッション，ダイアログも含む） 	<ul style="list-style-type: none"> △ Pair work & 生徒の発表 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・尋ねられたことに対して適切に応答することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> △ 相手が話す英語を聞いて，相手の考えや意図（質問，指示，依頼，提案など）を適切に聞き分け，応答することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> △ 活動の観察 △ Performance Test (会話) 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な声量や明瞭さで話すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> △ 状況（ペア活動，発表など）に応じた声量で，相手が理解できるように明瞭に，語りかけるように話すことができる。（声の調子，声量，話す速さなども工夫している） 	<ul style="list-style-type: none"> △ Performance Test (会話) △ Modeling 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・聞き手を意識して，強調したり繰り返したりして話すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> △ 大切なところを強調したり，わかりにくいところを繰り返したり，説明を加えたり，違う表現で言い直して話すなどして，相手に伝えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> △ 活動の観察 △ 生徒の発表 	
<ul style="list-style-type: none"> ・与えられたテーマについて，自分の意見や主張をまとまりよく話すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> △ 夢や地域の行事など，「身近なテーマ」について，まとまりのある英語で1分程度のスピーチができる。 △ スピーチや視聴覚教材を聞いたり，手紙や物語文などを読んで感想や意見を発表できる。 	<ul style="list-style-type: none"> △ 生徒の発表 △ Performance Test (speech) 		

3 内容のまとめりごとの「評価規準に盛り込むべき事項」及び「評価規準の設定例」

ウ 「読むこと」について

<p>◆ コミュニケーションへの関心・意欲・態度の評価規準に盛り込むべき事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「読むこと」の言語活動に積極的に取り組んでいる。 ○ 様々な工夫をして、読み続けようとしている。
--

◆ 学 習 指 導 要 領 （言語活動の内容について）	◆ 評 価 規 準 に 盛 り 込 む べ き 事 項
<p>(ア) 文字や符号を識別し、正しく読むこと。</p> <p>(イ) 書かれた内容を考えながら黙読したり、その内容が表現されるように音読すること。</p> <p>(ウ) 物語のあらすじや説明文の大切な部分などを正確に読み取ること。</p> <p>(エ) 伝言や手紙などの文章から書き手の意向を理解し、適切に応じること。</p> <p>(オ) 話の内容や書き手の意見などに対して感想を述べたり賛否やその理由を示したりなどすることができるよう、書かれた内容や考え方などをとらえること。</p>	<p>外国語表現の能力（正確な音読）</p> <p>英語を正しく音読することができる。</p> <p>外国語表現の能力（適切な音読）</p> <p>英語で書かれた内容が表現されるように適切に音読することができる。</p> <p>外国語理解の能力（正確な読み取り）</p> <p>英語で書かれた内容を正しく読み取ることができる。</p> <p>外国語理解の能力（適切な読み取り）</p> <p>目的に応じて英語を適切に読んで理解することができる。</p>

◆ 読むことに関する「評価規準の設定例」および「岩手の中学生に身に付けさせたい力」

【第1学年】

[シート番号は代表的な問題を表示]

観 点	◆ 評価規準の設定例	◆ 岩手の中学生に身に付けさせたい力 〔 評価場面： ○Gアップシート △授業等 〕	◆ シート番号 (評価方法)	◆ 学力課題等 学習定着度調査
関心・意欲・態度	【言語活動への取組】 ・ 読んだことについて、メモを取ったり簡単な言葉や動作などで反応したりしている。 ・ 辞書を活用して読んでいる。 ・ 積極的に音読している。	△ 読めない語や意味の分からない部分、分かったことなどをメモしたり、アンダーラインや区切りの斜線を入れたりしながら読んでいる。 △ 文字や符号を正しく理解し、分からない語句や関心のある表現などについて、積極的に辞書に慣れ親しみ、調べながら読んでいる。 △ 文字や符号、英語の綴りに関心を持ち、綴りと発音が結びつくように積極的に、繰り返して音読している。 △ 授業や家庭で音読することに慣れ親しんでいる。	△ 活動の観察 △ ノート観察 △ 教科書観察 △ 活動の観察 △ 自己評価 △ 活動の観察 (Buzz Reading) △ 自己評価	
	【コミュニケーションの継続】 ・ 繰り返して読んだり読み返したりして読み続けている。	△ うまく読めない部分があっても、自分に合った速さで何度も繰り返して黙読したり、音読したりしている。 △ 授業や家庭で黙読することに慣れ親しんでいる。	△ 活動の観察 (Silent Reading)	
外国語表現の能力	【正確な音読】 ・ 正しい強勢、イントネーション、区切りなどを用いて音読することができる。	△ 文字を識別でき、語句や文を正しく発音できる。 (bとd/hとnなどの形の違いやコンマ符号などの認識) △ 英語の音声の特徴を理解し、適切なスピードやイントネーションで音読することができる。	△ 活動の観察 △ Performance Test (音読)	
	【適切な音読】 ・ 意味内容にふさわしく音読することができる。 ・ 適切な声量や明瞭さで音読することができる。	△ 語句や文の意味を正しく理解し、その内容が適切に相手に伝わるように音読することができる。 △ 状況(ペア活動、発表など)に応じた声量で、相手が理解できるように明瞭に音読することができる。	△ 活動の観察 △ Performance Test (音読) △ 活動の観察 △ Performance Test (音読)	
外国語理解の能力	【正確な読み取り】 ・ 語句や表現、文法事項などの知識を活用して内容を正しく読み取ることができる。	○ 語句や文、対話文、初歩的な物語や説明文などを、自分に合った速さで、読み返しなどしながら黙読し、その内容を正しく理解することができる。	33(1), 37(1), 39(1), 40(1), 41, 46(1), 47(1), 49(1), 50(1)	H22 9(1) 59% H21 9(2) 55% H22 8(4) 59%
	【適切な読み取り】 ・ あらすじや大切な部分などを読み取ることができる。	○ 物語を読みながら「登場人物、主人公、場面、物語の展開」を読み取り、説明文を読みながら「話題の中心となる事柄や主張」を読み取ることができる。	79	
	・ 書かれた内容から書き手の意向を読み取ることができる。	○ 伝言、手紙、メモ、メールなどを読みながら、書き手が伝えたい「意図や考え」を読み取ることができる。(書き手の意向を「受信」するコミュニケーション能力)	79	
	・ 伝言や手紙などを読んで、その内容にあわせて適切に応じることができる。	○ 書き手の「意図や考え」を読み取り、手紙の返事を書いたり、電話をかけたり、メモを残したりなどして、適切に書き手の意向に応じることができる。(「受信」から「発信」へのコミュニケーション能力)	67, 74, 75, 76	
	・ 文や文章を目的に応じた適切な速さで読み取ることができる。	○ 与えられた読み取りのポイントやヒントなどを参考に素早く読み返しなが、正しく内容を理解することができる(初歩的なscanningやskimmingができる)。	77(1), 78(1)	
・ 話の内容や書き手の意見などを批判的に読むことができる。	○ 70語程度の英文を1分で概要把握ができる。 ○ 読み取った内容に対して、自分の体験や考えなどと関連付けて「自分の感想や意見、賛否及びその理由」を表現(発信)することができる。			

【第2学年】

[シート番号は代表的な問題を表示]

観 点	◆ 評価規準の設定例	◆ 岩手の中学生に身に付けさせたい力 〔 評価場面： ○Gアップシート △授業等 〕	◆ シート番号 (評価方法)	◆ 学力課題等 学習定着度調査
関心・意欲・態度	<p>【言語活動への取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 読んだことについて、メモを取ったり簡単な言葉や動作などで反応したりしている。 ・ 辞書を活用して読んでいる。 ・ 積極的に音読している。 <p>【コミュニケーションの継続】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 繰り返して読んだり読み返したりして読み続けている。 	<ul style="list-style-type: none"> △ 読めない語や意味の分からない部分、分かったことなどをメモしたり、アンダーラインや区切りの斜線を入れたりしながら読んでいる。 △ 分からない語句や関心のある表現などについて自分で授業中などに辞書を活用し、調べながら読んでいる。 △ 理解した内容が適切に表現できるように、積極的に、繰り返して音読している。 △ うまく読めない部分があっても、自分に合った速さで何度も繰り返して黙読したり、音読したりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> △ 活動の観察 △ ノート観察 △ 教科書観察 △ 活動の観察 △ 自己評価 △ 活動の観察 (Buzz Reading) △ 自己評価 △ 活動の観察 (Silent Reading) 	
外国語表現の能力	<p>【正確な音読】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 正しい強勢、イントネーション、区切りなどを用いて音読することができる。 <p>【適切な音読】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 意味内容にふさわしく音読することができる。 ・ 適切な声量や明瞭さで音読することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> △ 正しい強勢や適切な流暢さとイントネーションで、意味のまとまりで区切りながら音読することができる。 △ まとまりのある英文(説明文、意見文、対話文など)を正しく理解し、その内容が適切に表現され、相手に伝わるように音読することができる。 △ 感情を込めて登場人物らしく音読することができる。 △ 状況(ペア活動、発表など)に応じた声量で、相手が理解できるように明瞭に音読することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> △ 活動の観察 △ Performance Test (音読) △ 活動の観察 △ Performance Test (音読) △ 活動の観察 △ Performance Test (音読) 	
外国語理解の能力	<p>【正確な読み取り】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 語句や表現、文法事項などの知識を活用して内容を正しく読み取ることができる。 <p>【適切な読み取り】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ あらすじや大切な部分などを読み取ることができる。 ・ 書かれた内容から書き手の意向を読み取ることができる。 ・ 伝言や手紙などを読んで、その内容にあわせて適切に応じることができる。 ・ 文や文章を目的に応じた適切な速さで読み取ることができる。 ・ 話の内容や書き手の意見などを批判的に読むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 語句や文、まとまりのある英文(説明文、意見文、対話文など)を、自分に合った速さで、読み返しなどしながら黙読し、内容を正しく理解することができる。 ○ 物語を読みながら「登場人物、主人公、場面、物語の展開(5W1H)」を読み取り、説明文を読みながら「話題の中心となる事柄」を読み取ることができる。 ○ 伝言、手紙、メモ、メールなどを読みながら、書き手が伝えたい「意図や考え」を読み取ることができる。(書き手の意向を「受信」するコミュニケーション能力) ○ 書き手の「意図や考え」を読み取り、手紙の返事を書いたり、電話をかけたり、メモを残したりなどして、適切に書き手の意向に応じることができる。(「受信」から「発信」へのコミュニケーション能力) ○ 与えられた読み取りのポイントやヒントなどを参考に、適切にscanningやskimmingの読み取りができる。 ○ パンフレットなどを読み、必要な情報を獲得できる。 ○ 250語程度の英文を4分で概要把握ができる。 ○ 読み取った内容に対して、自分の体験や考えなどと関連付けて「自分の感想や意見、賛否及びその理由」を表現(発信)することができる。 	<p>15, 16, 22(1), 34(1), 35(2), 43</p> <p>41(2), 46, 48, 49, 72(1), 73, 75</p> <p>18(3), 22(2), 37(1), 38(1)(2)</p> <p>37(2)(3), 38(3), 71</p> <p>25, 26, 50, 74, 76, 77, 78, 79, 80</p> <p>74(5), 77(4), 78(5)</p>	<p>H22 7(4) 49% H21 5(2) 43%</p> <p>H22 5(2) 22% H22 5(3) 21% H22 7(3) 21% H21 7(2) 18%</p> <p>H21 5(1) 43%</p>

【第3学年】

[シート番号は代表的な問題を表示]

観 点	◆ 評価規準の設定例	◆ 岩手の中学生に身に付けさせたい力 〔 評価場面： ○Gアップシート △授業等 〕	◆ シート番号 (評価方法)	◆ 学力課題等 公立高校入試
関心・意欲・態度	【言語活動への取組】 ・ 読んだことについて、メモを取ったり簡単な言葉や動作などで反応したりしている。 ・ 辞書を活用して読んでいる。 ・ 積極的に音読している。	△ 読めない語や意味の分からない部分、分かったことなどをメモしたり、アンダーラインや区切りの斜線を入れたりしながら読んでいる。 △ 分からない語句や関心のある表現などについて自分で日常的に辞書を活用し、調べながら読んでいる。 △ 理解した内容が適切に表現できるように、積極的に工夫しながら、繰り返して音読している。	△ 活動の観察 △ ノート観察 △ 教科書観察 △ 活動の観察 △ 自己評価 △ 活動の観察 (Buzz Reading) △ 自己評価	
	【コミュニケーションの継続】 ・ 繰り返して読んだり読み返したりして読み続けている。	△ うまく読めない部分があっても、自分に合った速さで何度も繰り返して黙読したり、音読したりしている。	△ 活動の観察 (Silent Reading)	
外国語表現の能力	【正確な音読】 ・ 正しい強勢、イントネーション、区切りなどを用いて音読することができる。 【適切な音読】 ・ 意味内容にふさわしく音読することができる。 ・ 適切な声量や明瞭さで音読することができる。	△ 正しい強勢や適切な流暢さとイントネーションで、意味のまとまりで区切りながら音読することができる。 △ まとまりのある英文(説明文、意見文、対話文など)を正しく理解し、その内容が適切に表現され、相手に伝わるように音読することができる。 △ 感情を込めて登場人物らしく音読することができる。 △ 状況(ペア活動、発表など)に応じた声量で、相手が理解できるように明瞭に音読することができる。	△ 活動の観察 △ Performance Test (音読) △ 活動の観察 △ Performance Test (音読) △ 活動の観察 △ Performance Test (音読)	
	【正確な読み取り】 ・ 語句や表現、文法事項などの知識を活用して内容を正しく読み取ることができる。 【適切な読み取り】 ・ あらすじや大切な部分などを読み取ることができる。 ・ 書かれた内容から書き手の意向を読み取ることができる。 ・ 伝言や手紙などを読んで、その内容にあわせて適切に応じることができる。 ・ 文や文章を目的に応じた適切な速さで読み取ることができる。 ・ 話の内容や書き手の意見などを批判的に読むことができる。	○ 語句や文、まとまりのある英文(説明文、意見文、対話文など)を、自分に合った速さで、読み返しなどしながら黙読し、内容を正しく理解することができる。 ○ 物語を読みながら「登場人物、主人公、場面、物語の展開(5W1H)」を読み取り、説明文を読みながら「話題の中心となる事柄」を読み取ることができる。 ○ 伝言、手紙、メモ、メールなどを読みながら、書き手が伝えたい「意図や考え」を読み取ることができる。(書き手の意向を「受信」するコミュニケーション能力) ○ 書き手の「意図や考え」を読み取り、手紙の返事を書いたり、電話をかけたり、メモを残したりなどして、適切に書き手の意向に応じることができる。(「受信」から「発信」へのコミュニケーション能力) ○ 与えられた読み取りのポイントやヒントなどを参考に、適切にscanningやskimmingの読み取りができる。 ○ パンフレットなどを読み、必要な情報を獲得できる。 ○ 400語程度の英文を6分で概要把握ができる。 ○ 読み取った内容に対して、自分の体験や考えなどと関連付けて「自分の感想や意見、賛否及びその理由」を表現(発信)することができる。	16, 17, 20, 30(2), 33, 34, 35, 36, 73, 85, 86 66, 67, 69, 70, 71, 72, 74, 76, 82, 88 25(2), 64, 68, 80, 82(4), 97(4), 96 64(4), 68(2), 69(3), 75 63, 65, 79, 81, 83, 84, 87, 89, 90, 91, 92, 93, 94, 95 70(5), 71(5), 81(4), 83(4), 84(1),	

3 内容のまとめりごとの「評価規準に盛り込むべき事項」及び「評価規準の設定例」

エ 「書くこと」について

<p>◆ コミュニケーションへの関心・意欲・態度の評価規準に盛り込むべき事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「書くこと」の言語活動に積極的に取り組んでいる。 ○ 様々な工夫をして、書き続けようとしている。
--

◆ 学 習 指 導 要 領 （言語活動の内容について）	◆ 評 価 規 準 に 盛 り 込 む べ き 事 項
<p>(ア) 文字や符号を識別し，語と語の区切りなどに注意して正しく書くこと。</p> <p>(イ) 語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くこと。</p> <p>(ウ) 聞いたり読んだりしたことについてメモをとったり，感想，賛否やその理由を書いたりなどすること。</p> <p>(エ) 身近な場面における出来事や体験したことなどについて，自分の考えや気持ちなどを書くこと。</p> <p>(オ) 自分の考えや気持ちなどが読み手に正しく伝わるように，文と文のつながりなどに注意して文章を書くこと。</p>	<p>外国語表現の能力（正確な筆記）</p> <p>自分の考えや気持ちなどを英語で正しく書くことができる。</p> <p>外国語表現の能力（適切な筆記）</p> <p>目的に応じて英語で適切に書くことができる。</p>

◆ 書くことに関する「評価規準の設定例」および「岩手の中学生に身に付けさせたい力」

【第1学年】

[シート番号は代表的な問題を表示]

観点	◆ 評価規準の設定例	◆ 岩手の中学生に身に付けさせたい力 【評価場面： ○Gアップシート △授業等】	◆ シート番号 (評価方法)	◆ 学力課題等 学習定着度調査	
関心・意欲・態度	【言語活動への取組】 ・間違えることを恐れず積極的に書いている。	△ アルファベットや語、文を書くことに慣れ親しみ、ノートなどに何度も繰り返して書く練習をしている。	△ 活動の観察 △ ノート観察 △ 自己評価	/	
	・読み手が理解しやすくなるように書いたり、書き直したりしている。	△ アルファベットの大文字、小文字、符号や語と語の区切りなどに注意を払って、分かりやすく丁寧に書いている。	△ 活動の観察 △ 添削指導		
	・辞書を活用して書いている。	△ 分からない英語などは関心を持って積極的に調べるなど、辞書に慣れ親しみながら書いている。	△ 活動の観察 △ 自己評価		
	【コミュニケーションの継続】 ・うまく書けないところがあっても知っている語句や表現を用いて書き続けている。	△ 文章（簡単な自己紹介文など）を書く時に、うまく書けないところがあっても、知っている語句や表現を用いて書き続けている。	△ 活動の観察 △ ノート観察 △ 添削指導		
外国語表現の能力	【正確な筆記】 ・語句や表現、文法事項などの知識を活用して正しく書くことができる。	○ アルファベットの大文字、小文字、符号や語と語の区切りなどに注意を払って、分かりやすく正確に書くことができる。（英語の表記法を正しく理解している） ○ 英語の正しい語順や語法を理解し、特に「語と語のつながり」に注意し、正しい文を書くことができる。（ここでの「文」とは1文のことを示している）	5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14 ----- 16, 17, 18, 30, 37, 38, 39, 40, 42, 43, 44, 45, 46, 47, 49, 50, 52, 53, 54, 58	H22 5(4) 41% H21 11(6) 47%	
	【適切な筆記】 ・場面や状況にふさわしい表現を用いて書くことができる。	○ 「言語使用の場面（あいさつ、自己紹介、買物、家庭での生活など）」や「言語の働き（気持ちを伝える、情報を伝えるなど）」を正しく理解し、与えられた選択肢から適切な表現を活用して書くことができる。 ○ 自分が伝えたい気持ちや内容を、状況に応じた適切な英語表現を用いて書くことができる。	20(3), 21(3), 27, 36, 48, ----- 24(3), 25(3), 31(3), 35(3), 46(4), 47(3), 52(4), 63(2)	H22 12(1) 48% H22 12(2) 37% H22 12(3) 6% H21 12(1) 41% H21 12(2) 13% H21 12(3) 43%	
	・感想や内容に対しての賛否に加えてその理由を書くことができる。	○ 聞いたり、読んだりした内容について「相手に伝えるため」や「忘れないため」に簡単なメモを取ることができる(WebbingやConcept Mappingを活用している)。 ○ 聞いたり、読んだりしたことについて、自分の感想や意見などを日本語で書くことができる。 ○ 家庭などでの身近な出来事や体験について、自分の考えや気持ちを理由を述べて英語で書くことができる。	69, 70, 71(2)(3) 56(1)(2), 72, 73, ----- 77(1), 78(1) ----- 62(3)	/	
	・内容的にまとまりのある文章を書くことができる。	○ 3文から5文の英文を、文と文のつながりを考え、まとまりのある文章に構成することができる。 ○ 自分の考えや気持ちなどが相手に正しく伝わるよう、文と文のつながりに注意して、5文程度（20語程度）のまとまりのある文章を書くことができる。（代名詞を使い Tom を he で表現したり a dog を it で言い換えたりして「文と文のつながり」を意識している）	33(3), 38(3), 71(1) ----- 22, 29, 51, 68, 77(2), 78(2), 79(2), 80(3)	/	

【第2学年】

[シート番号は代表的な問題を表示]

観 点	◆ 評価規準の設定例	◆ 岩手の中学生に身に付けさせたい力 〔 評価場面： ○Gアップシート △授業等 〕	◆ シート番号 (評価方法)	◆ 学力課題等 学習定着度調査
関心・意欲・態度	【言語活動への取組】 ・間違えることを恐れず積極的に書いている。	△ 書くことの基礎的・基本的な技能に習熟するために、ノートなどに文や文章を繰り返して書いている。	△ 活動の観察 △ ノート観察 △ 自己評価	/
	・読み手が理解しやすくなるように書いたり、書き直したりしている。	△ 英語の表記法などによく慣れ、分かりやすく丁寧に書いたり、相手が理解しやすいよう工夫して書こうとしている。	△ 活動の観察 △ 添削指導	
	・辞書を活用して書いている。	△ 分からない英語や使いたい表現などを関心を持って積極的に調べるなど、授業中なども、辞書を活用しながら書いている。	△ 活動の観察 △ Performance Test (辞書)	
	【コミュニケーションの継続】 ・うまく書けないところがあっても知っている語句や表現を用いて書き続けている。	△ 文章(自分の感想や意見文など)を書く時に、うまく書けないところがあっても、知っている語句や表現を用いて書き続けている。	△ 活動の観察 △ 添削指導 △ Writing Test	
外国語表現の能力	【正確な筆記】 ・語句や表現、文法事項などの知識を活用して正しく書くことができる。	○ 英語の表記法を正しく理解し、書くことにも慣れ、分かりやすく正確に書くことができる。 ○ 英語の正しい語順や語法を理解し、特に「語と語のつながり」に注意し、正しい文を書くことができる。(ここでの「文」とは1文のことを示している)	3, 5, 6, 7, 11, 12, 13, 17, 20, 21, 22, 27, 28, 29, 32, 33, 34, 39, 40, 42, 51, 52, 53, 54, 55, 59, 60	H22 9(1) 37% H22 9(3) 26% H21 9(2) 30% H21 9(3) 37% H22 8(1) 25% H21 8(2) 34%
	【適切な筆記】 ・場面や状況にふさわしい表現を用いて書くことができる。	○ 「言語使用の場面(道案内、自己紹介、旅行、食事、学校での学習や活動など)」や「言語の働き(考えや意図を伝える、相手の行動を促す、情報を伝えるなど)」を正しく理解し、与えられた選択肢から、適切な表現を活用して書くことができる。 ○ 自分が伝えたい気持ちや考え、情報などを具体的な場面や状況に応じて、適切な英語表現を用いて書くことができる。	29(4), 30(2), 31(2), 36, 57(2), 68 19, 20(3)(4), 21(3), 22(4), 23(2), 24, 35, 40(2), 44(2), 56, 64, 65, 69, 70, 72	H22 10(1) 47% H22 10(2) 45% H22 10(3) 40% H21 10(1) 21% H21 10(2) 41%
	・感想や内容に対しての賛否に加えてその理由を書くことができる。	○ 聞いたり、読んだりした内容について「相手に伝えるため」や「忘れないため」に簡単なメモを取ることができる(WebbingやConcept Mappingを活用している)。 ○ 聞いたり、読んだりしたことについて、自分の感想や意見と、その理由を英語で書くことができる。 ○ 家庭や学校などでの身近な出来事や体験について、自分の考えと、その理由を英語で書くことができる。(I think や I agree, because などの表現を有効に使える)	38(2), 49(4), 50(2), 62, 63 26(3), 61, 67, 24(2), 33(3), 55(4), 66	/
	・内容的にまとまりのある文章を書くことができる。	○ 3文から5文の英文を、文と文のつながりを考え、まとまりのある文章に構成することができる。 ○ 自分の考えや気持ちなどが相手に正しく伝わるよう、文と文のつながりに注意して、5文程度(25語程度)のまとまりのある文章を書くことができる。(代名詞、副詞、接続詞や言い換えの手法などを活用し、文と文の関連や一貫性を意識して文章を書いている)	15(1), 16(1), 45(2), 46(2), 76(1), 78(4) 16(3), 47, 50(3), 58, 61, 74(7), 75(6), 76(5), 78(6), 79(4)	H22 11(1) 27% H22 11(2) 22% H21 11(2) 23%

【第3学年】

[シート番号は代表的な問題を表示]

観 点	◆ 評価規準の設定例	◆ 岩手の中学生に身に付けさせたい力 〔 評価場面： ○Gアップシート △授業等 〕	◆ シート番号 (評価方法)	◆ 学力課題等 公立高校入試
関心・意欲・態度	【言語活動への取組】 ・間違ふことを恐れず積極的に書いている。	△ 書くことの基礎的・基本的な技能を活用するために、ノートなどに文や文章を繰り返して書いている。	△ 活動の観察 △ ノート観察	/
	・読み手が理解しやすくなるように書いたり、書き直したりしている。	△ 英語の表記法などによく習熟し、分かりやすく丁寧に書いたり、相手が理解しやすいよう工夫して書こうとしている。	△ 活動の観察 △ 添削指導	
	・辞書を活用して書いている。	△ 分からない英語や使いたい表現などを積極的に調べたり、教科書を離れた英語学習に取り組むなど、自分の表現力を高めるため、日常的に辞書を活用している。	△ 活動の観察 △ Writing Test	
	【コミュニケーションの継続】 ・うまく書けないところがあっても知っている語句や表現を用いて書き続けている。	△ 文章（自分の感想や意見文など）を書く時に、うまく書けないところがあっても、知っている語句や表現を用いて書き続けている。	△ 活動の観察 △ 添削指導 △ Writing Test	
外国語表現の能力	【正確な筆記】 ・語句や表現、文法事項などの知識を活用して正しく書くことができる。	○ 英語の表記法や語句にも習熟し、書くことにも十分に慣れ、分かりやすく正確に書くことができる。 ○ 英語の正しい語順や語法を理解し、特に「語と語のつながり」に注意し、正しい文を書くことができる。（ここでの「文」とは1文のことを示している）	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 14, 15, 21, 22, 24, 26, 27, 28, 106, 107, 108, 109, 110, 111, 112	H22 4(2) 13% H21 5(2) 5% H23 8(3) 3% H22 8(3) 1% H21 9(3) 7% H20 9(3) 8%
	【適切な筆記】 ・場面や状況にふさわしい表現を用いて書くことができる。	○ 「言語使用の場面（道案内、自己紹介、旅行、食事、学校や地域での活動など）」や「言語の働き（考えや意図を伝える、相手の行動を促す、情報を伝えるなど）」を正しく理解し、与えられた選択肢から適切な表現を活用して書くことができる。 ○ 自分が伝えたい気持ちや考え、情報などを具体的な場面や状況に応じて、適切な表現を用いて書くことができる。	9(3), 13(2), 28(2), 31(3), 37(2), 49, 50, 51, 52, 53 19, 25, 43, 44, 45, 54, 55, 56, 57, 58, 59, 61,	H23 9(1) 20% H22 3(4) 24% H22 9(1) 37% H22 7(4) 1% H21 4(2) 25% H21 8(4) 5% H2110(1) 35% H20 4(1) 24% H20 4(3) 27%
	・感想や内容に対しての賛否に加えてその理由を書くことができる。	○ 聞いたり、読んだりした内容について「相手に伝えるため」や「忘れないため」に簡単なメモを取ることができる(WebbingやConcept Mappingを活用している)。 ○ 聞いたり、読んだりしたことについて、自分の感想や意見と、その理由を書くことができる。 ○ 学校や地域などでの身近な出来事や体験について、自分の考えや気持ち、その理由を書くことができる。(I think / I agree / I believe や because などを用いた表現にも習熟している)	38, 39, 40, 41, 42, 61, 76(5) 48, 62(2), 63(4), 65(3), 70(5), 71(5), 75, 46, 47, 60, 77(3)	H23 9(2) 20% H22 9(2) 33% H2110(2) 39%
	・内容的にまとまりのある文章を書くことができる。	○ 5文から7文の英文を、文と文のつながりを考え、まとまりのある文章に構成することができる。 ○ 自分の考えや気持ちなどが相手に正しく伝わるよう、文と文のつながりに注意して、5～7文程度(30語程度)のまとまりのある文章を書くことができる。(代名詞、副詞、接続詞や言い換えの手法などを活用し、文と文の関連や一貫性の高い文章を書いている)	78(1)(2), 84(4), 89, 90(5), 97(1) 78(4), 79(5), 80(5), 81(5), 82(6), 84(5), 90(6), 93(2), 95(2), 97(1)	H23 3(4) 10% H22 7(2) 27% H21 8(2) 35% H20 10 38%

4 言語や文化についての知識・理解

「評価規準に盛り込むべき事項」「評価規準の設定例」と「岩手の中学生に身に付けさせたい力」

【全学年対応（3年間で扱うすべての言語材料について掲載）】

◆ 評価規準に盛り込むべき事項

- 英語やその運用についての知識を身に付けている。
- 言語の背景にある文化について理解している。

◆ 言語材料と評価規準の設定例	◆ 岩手の中学生に身に付けさせたい力 〔 評価場面： ○Gアップシート △授業等 〕	◆ シート番号 (評価方法)
<p>言語についての知識</p> <p>ア【音声に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発音の違いや音変化に関する知識を身に付けている。(L) ・発音の違いに関する知識を身に付けている。(S) <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な強勢やイントネーションなどの違いを理解している。(L)(R) ・基本的な強勢の違いを理解している。(S) ・基本的なイントネーションの違いを理解している。(S) <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な区切りについて理解している。(S) <hr/> <p>イ【文字及び符号に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文字や符号を使い分ける知識を身に付けている。(W) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> 小学校外国語活動を踏まえ、音声と文字の関係に触れた適切、丁寧な指導を心がけ、発音と綴りの関係に気づかせる。 </div>	<p>△ 標準的な英語の発音（子音の特徴）や、英語の音声の特徴（語と語の連結による音変化）について理解している。</p> <p style="text-align: center;">an apple / Take it easy. / I don't know. / Why don't you join us?</p> <p>△ 英語の語、句、文には強く（大きく、長めに）発音される部分があり、英語らしいリズムを生むことを理解している。</p> <p>△ 文の中では伝えたい語や語句に強勢が置かれることを理解している。 in the evening / Give me some milk, please. など</p> <p>△ イントネーションを下降調や上昇調にすることで、話し手の気持ちや意図が変化することを理解している。</p>	<p>△ 活動の観察</p> <p>△ Performance Test（音読）</p> <p>△ 活動の観察</p> <p>△ Modeling</p> <p>△ Performance Test（音読）</p>
	<p>△ 英語は「意味のまとまり」で区切って話したり、読んだりされることを理解し、自分が話したり、読んだりするだけでなく、聞く時も「区切り」を意識することが重要であることを理解している。</p>	<p>△ 活動の観察</p> <p>△ Modeling</p> <p>△ Performance Test（音読）</p>
	<p>○ アルファベットの大小文字、小文字や符号、語の区切りなど、英語の表記法を正しく理解している（終止符、疑問符、アポストロフィ、コンマ、引用符、感嘆符などの意味や使い方）。</p>	<p>[1] 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14</p>

◆ 言語材料と評価規準の設定例	◆ 岩手の中学生に身に付けさせたい力 〔 評価場面： ○Gアップシート △授業等 〕	◆ シート番号 (評価方法)
<p>ウ【語，連語及び慣用表現に関すること】</p> <p>「言語活動の取り扱い」に示された〔言語の使用場面の例〕や〔言語の働きの例〕として挙げられている場面や働きにおいてよく使われる身近な語や連語及び慣用表現。</p> <p>・語句や文，文法などに関する知識を身に付けている。(R)</p>	<p>○ 授業での言語活動などを通して活用しながら，1200語程度の語の意味や使い方を理解している。</p> <p>○ 特に巻末に示す語については，正確に書けるまで習熟し，言語活動を通して身に付けている。</p>	<p>[1] 19, 23, 34 55, 59, 60 [2] 4, 8, 9, 10 14, [3] 98～105</p>
<p>・話を続けるために必要なつなぎ言葉や相づちを打つ表現などを知っている。(S)</p>	<p>○ よく使われる連語を理解し，活用しながら身に付けている。 in front of / a lot of / get up / look for / look up / next to など</p> <p>○ コミュニケーション活動を充実させる，日常的な慣用表現を理解し，身に付けている。 Excuse me. / Thank you. / You're welcome. / Long time no see. など</p> <p>○ コミュニケーションを継続する時に有効な「つなぎ言葉」「相づち」などの表現を理解し，身に付けている。 I see. / Oh, really? / Let me see. / Sure. など</p>	<p>[1] 82～84 [2] 82～85 [1] 82～84 [2] 82～85 [3] 114～117 [1] 81 [2] 81 [3] 113</p>
<p>エ【文法事項に関すること】</p> <p>・文構造や語法，文法などに関する知識を身に付けている。(W)</p> <p>・正しい語順や語法を用いて文を構成する知識を身に付けている。(W)</p> <p>文法の意味や機能を十分に理解させた上で，既習事項と関連を図り，言語活動の中で実際に使用できるように指導する。語順や修飾関係などにおける日本語との違いに留意して指導する。</p> <p>・語句や文，文法などに関する知識を身に付けている。(R)</p>	<p>○ 文の種類（単文，重文及び複文，肯定文，命令文など）や文構造の違いについて理解している。 (特に習熟させたい文型について，Gアップシートで作題)</p> <p>○ 「代名詞」の種類，意味や語法について理解している。</p> <p>・人称を表すもの I / my / me / mine など</p> <p>・指示を表すもの this / that / it / these など</p> <p>・疑問を表すもの what / which / who など</p> <p>・数量を表すもの some / few / no / much など</p> <p>○ 「関係代名詞」の種類，意味や語法について理解している。 (主格の that / which / who 及び目的格の that / which)</p> <p>Yuki bought a doll that had large beautiful eyes. The animal which runs the fastest is the cheetah. This is the dog which I like the best. This is the mountain I climbed last year. など</p>	<p>[2] 28, 41, 42 [3] 21, 22, 23, 24, 61 [1] 43 [3] 4 [1] 32 [3] 37 [1] 30, 40 [3] 22 [3] 29, 30, 31 32, 33, 34, 35, 107(1)(2), 110(1), 111(1)(2)</p>

◆ 言語材料と評価規準の設定例	◆ 岩手の中学生に身に付けさせたい力 〔 評価場面： ○Gアップシート △授業等 〕	◆ 問題番号 (評価方法)
<p>エ【文法事項に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 文構造や語法，文法などに関する知識を身に付けている。(W) ・ 正しい語順や語法を用いて文を構成する知識を身に付けている。(W) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 文法の意味や機能を十分に理解させた上で，既習事項と関連を図り，言語活動の中で実際に使用できるように指導する。語順や修飾関係などにおける日本語との違いに留意して指導する。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 語句や文，文法などに関する知識を身に付けている。(R) <p style="text-align: center;">言 語 に つ い て の 知 識</p>	<p>○「動詞の時制」の種類，意味や語法について理解している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現在形 We are very tired. / There is a dog on the bench. We take a walk in the park every morning.など 	<p>[1] 15, 16, 20 33, 37, 38 [2] 1, 2, 3, 27 [3] 1, 2</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 過去形 He was in China last year. We swam in the ocean last sunner.など 	<p>[1] 58, 59, 64 [2] 11, 12, 16</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在進行形 Hanako is opening the present. My mother is talking on the phone.など 	<p>[1] 52, 53, 54 [2] 5 [3] 3</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 過去進行形 They were working on the computer. Taro was cooking dinner in the kitchen.など 	<p>[2] 13 [3] 3</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在完了形 He has lived in London for two years. I have been to New York three times.など 	<p>[3] 11, 12, 15(1), 56(3)</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 助動詞などを用いた未来表現 I will take that yellow shirt. We are going to study after school. Beth is coming to the party tomorrow.など 	<p>[2] 17, 45(2) [3] 6, 7, 45, 51(1), 55(3)</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 助動詞などを用いた依頼や相手の意向を尋ねる表現 Will you close the door? / Shall I help you? Shall we eat out tonight? / May I come in?など 	<p>[2] 18, 19, 20 21, 23 [3] 6, 7, 49, 56</p>
	<p>○「形容詞の比較変化」の種類や語法について理解している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 原級に -er, -est の付くもの， more, most が加わるもの及び不規則な変化をするもの。 tall - taller - tallest / easy - easier - easiest famous - more famous - most famous good - better - best など 	<p>[2] 51, 52, 53, 54, 57, 58, 65(5), 68(4) [3] 5, 51(2)</p>
	<p>○「副詞の比較変化」の種類や語法について理解している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 原級に -er, -est の付くもの， more, most が加わるもの及び不規則な変化をするもの。 fast - faster - fastest / well - better - best slowly - more slowly - most slowly など 	<p>[2] 55, 56, 64(8) (9) [3] 5, 32(9), 32(10), 38(8)</p>

◆ 言語材料と評価規準の設定例	◆ 岩手の中学生に身に付けさせたい力 〔 評価場面： ○Gアップシート △授業等 〕	◆ 問題番号 (評価方法)
<p>言 語 に つ い て の 知 識</p> <p>エ【文法事項に関すること】 ・文構造や語法，文法などに関する知識を身に付けている。 ・正しい語順や語法を用いて文を構成する知識を身に付けている。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 文法の意味や機能を十分に理解させた上で，既習事項と関連を図り，言語活動の中で実際に使用できるように指導する。語順や修飾関係などにおける日本語との違いに留意して指導する。 </div>	<p>○「to 不定詞」の種類，意味や語法について理解している。 ・名詞としての用法 I want to drink water. / I like to read books. To learn a new language is difficult. It is easy for me to get up early. My teacher told me to read a lot of books.など</p>	<p>[2] 32, 35, 72(3) [3] 14, 15, 21(7), 21(8)(9)</p>
	<p>・形容詞としての用法 Keiko needed something to eat. We had a lot of things to do last week.など</p>	<p>[2] 34, 35 [3] 14, 15, 51(1)(2)</p>
	<p>・副詞としての用法 They went to the supermarket to buy some food. I am glad to see you.など</p>	<p>[2] 33, 35 [3] 14, 15, 52(4)</p>
	<p>○「動名詞」の意味や語法について理解している。 We enjoyed dancing together. Keeping a diary is not easy. This room is usually used for eating lunch.</p>	<p>[2] 39, 40, 66(3), 68(4) [3] 2(7), 46(5), 106(2)</p>
	<p>○「現在分詞の形容詞としての用法」の種類（前置・後置），意味や語法について理解している。 My brother saw shooting stars last night. The teacher using a cell phone is Mr.Takagi.</p>	<p>[3] 26, 27, 28, 32, 108(2), 111(10), 112(4)</p>
	<p>○「過去分詞の形容詞としての用法」の種類（前置・後置），意味や語法について理解している。 He wants to learn spoken Japanese. This is a book written by Miyazawa Kenji.</p>	<p>[3] 26, 27, 28, 32, 57(4), 106(7), 107(8), 108(3)</p>
	<p>○「受け身」の意味や語法について理解している。 Judo is enjoyed by many people in the world. English is spoken around the world. This machine was made in France. A new school will be built there. We will be given new textbooks next year.</p>	<p>[2] 59, 60, [3] 9, 10, 23(5), 41(6), 71(3), 100(4), 109(5)</p>

[シート番号は代表的な問題を表示]

◆ 言語材料と評価規準の設定例	◆ 岩手の中学生に身に付けさせたい力 〔 評価場面： ○Gアップシート △授業等 〕	◆ 問題番号 (評価方法)
<p>文化についての理解</p> <p>【文化についての理解】 ・家庭，学校や社会における日常生活や風俗習慣など，「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」の言語活動に必要な文化的背景について理解している。</p>	<p>△ 社会や世界には「多様なものの見方や考え方が存在していることを理解する。</p> <p>△ 「言語や文化」とは，英語はもとより日本語も含めた様々な言語や人々の日常生活，技術，学問，芸術，道徳など広い分野にわたる内容であることを理解している。</p> <p>△ 題材の5つの項目である，「日常生活，風俗習慣」「物語」「地理，歴史」「伝統文化」「自然科学」の内容について，英語を通して理解している。</p> <p>△ 文化の多様性や価値の多様性に気づき，他国民や他民族に対する偏った先入観や固定観念を持たず，国際協調していくことの必要性を深く理解している。</p>	<p>△ 活動の観察 △ 生徒発言 △ アンケート △ 自己評価 △ 生徒作品</p>

5 3年間で取り扱う「題材内容」「言語使用の場面」「言語の働き」「文と文構造」

<p>ア【題材内容（英語を使用している人々を中心とする世界の人々及び日本人に関する以下の題材）】</p> <p>a 日常生活 「家庭，学校や社会における日常生活」 b 風俗習慣 「家庭，学校や社会における日常の風俗習慣」 c 物語 「世界各国にある様々な物語」 d 地理 「世界の様々な地域の様子，自然の景観」 e 歴史 「歴史上の人物や出来事」 f 伝統文化 「昔から伝えられてきた風習・制度・思想・技術・芸術」 g 自然科学 「発明や発見などの科学技術に関すること，あるいは自然現象や生物にかかわること」</p>
<p>イ【言語使用の場面】</p> <p>a 特有の表現がよく使われる場面 「あいさつ / 自己紹介 / 電話の応答 / 買い物 / 道案内 / 旅行 / 食事」 b 生徒の身近な暮らしに関わる場面 「家庭での生活 / 学校での学習や活動 / 地域の行事」</p>
<p>ウ【言語の働きの例】</p> <p>a コミュニケーションを円滑にする 「呼びかける / 相づちを打つ / 聞き直す / 繰り返す」 b 気持ちを伝える 「礼を言う / 苦情を言う / 褒める / 謝る」 c 情報を伝える 「説明する / 報告する / 発表する / 描写する」 d 考えや意図を伝える 「申し出る / 約束する / 意見を言う / 賛成する / 反対する / 承諾する / 断る」 e 相手の行動を促す 「質問する / 依頼する / 招待する」</p>

エ【文と文構造】

・文の種類

「単文」

Paul has a guitar. / My teacher will come to my house this afternoon. / My doctor told me when to take the medicine.

「重文」

Tom went to the supermarket, and his wife stayed home. / Kaori is already here, but Takashi hasn't come yet.

「複文」

I didn't go out because it was raining. / When I visited Tomoko, she was writing an e-mail. / We know that Mike has a lot of CDs.

「肯定及び否定の平叙文」

a 肯定文

Bill has three cats. / They are his friends. / You must be there at ten.

b 否定文

Emi doesn't like baseball. / She isn't a baseball fan. / I can't play the piano.

「肯定及び否定の命令文」

a 肯定文

Walk slowly, please. / Please be quiet, Masato. / Turn off the lights.

b 否定文

Don't run here. / Don't be noisy, Erika. / Don't leave the lights on.

「疑問文のうち、動詞で始まるもの、助動詞で始まるもの、orを含むもの及び疑問詞（how, what, when, where, which, who, whose, why）で始まるもの

a yes-no 疑問文

Is this your class room? / Do you walk to school? / Did you finish your homework?

b or を含む選択疑問文

Would you like tea or coffee? / Does she like Japanese food or Chinese food?

c wh-疑問文

What did you have for breakfast this morning? / Who visited you during the holidays?

d 助動詞の疑問文

Can I help you? / Can you help me? / Do you have a minute? / May I come in?

（意向の読み取り）

・文構造

「主語＋動詞」

Yukio walks to school. / He often goes to the library by bus when it rains.

「主語＋動詞＋補語」

a 主語＋be 動詞

This is my teacher. / The pen on the desk is mine. / This game is exciting.

b 主語＋be 動詞以外

The boy became a soccer player. / You look nice in that jacket. / He felt happy when many people came to his concert.

「主語＋動詞＋目的語」

a 主語＋動詞＋名詞

I like apples very much. / Yuko met him yesterday. / We enjoyed watching a movie. / He tried to do his best.

（句）

My grand father knows how to use the computer. / I want to know when to take the medicine.

b 主語＋動詞＋節

We didn't know that she was ill. / We understand that the test is difficult. / I don't know what he will do next.

We know who can answer the question.

「主語＋動詞＋間接目的語＋直接目的語」

a 主語＋動詞＋間接目的語＋名詞

The teacher told us an interesting story. / She gave me her e-mail address. / I can teach him that.

b 主語＋動詞＋間接目的語＋不定詞

I taught him how to send an e-mail. / My mother told me what to buy for the soup.

「主語＋動詞＋目的語＋補語」

We call him Ken. / We named this cat Tama. / Her smile always makes us happy. / You should keep this room clean.

「その他の文構造」

a There ＋ be 動詞～

There is an old tree in front of my house. / There was a bookstore next to my school.

b It ＋ be 動詞＋不定詞

It is fun to travel to new places. / It is not easy for me to understand English.

c 主語＋tell, want ＋不定詞

Our teacher told us to go out and enjoy the break. / Mary wants you to eat this chocolate.